

# 第9回東北スポーツマスターズ空手道競技大会実施要項

(公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会

- 1 大会名 第9回東北スポーツマスターズ空手道競技大会
- 2 主催 (公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会
- 3 後援 (公財) 全日本空手道連盟 山形県空手道連盟
- 4 場所 山形県総合運動公園総合体育館 サブアリーナ  
〒994-0000 山形県天童市山王1-1 TEL 023-655-5905
- 5 大会日程 令和6年 6月15日(土) 選手受付 8:00~9:00

予定時間	
9:00	審判・監督会議
9:30	開会式
10:00	競技開始
14:00	競技終了
14:20	表彰式・閉会式

- 6 種目/参加人員 (参加年齢基準は〇〇歳以上〇〇歳未満) (年齢は令和6年4月1日現在)

種目	組手競技			形競技				
	選手	男子	1部 40~44	4部 55~59	7部 70~74	男子	1部 40~49	4部 70以上
2部 45~49			5部 60~64	8部 75以上	2部 50~59			
3部 50~54			6部 65~69		3部 60~69			
女子		1部 35~39			女子	1部 35~49		
		2部 40~44				2部 50以上		
		3部 45以上						
監督							若干名	
コーチ							若干名	

\*各県の参加人数に制限はない。

- 7 競技規定
- (1) 競技は、(公財)全日本空手道連盟(以下、「全空連」と略記する)制定の「空手競技規定(令和6年4月1日改訂)」により実施する他、本要項の定めによる。競技の実施と運行の詳細は、当日審判長から通告する。
- (2) 形競技
- (ア) トーナメント方式とする。
- (イ) 勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。

- (ウ) 1回戦は全空連第1指定形、2回戦第2指定形とする。
- (エ) 回戦にかかわらず準決勝と決勝は競技規定の得意形リストから選ぶものとする。但し、回戦毎に異なる形を行わなければならない。
- (オ) 敗者復活戦、3位決定戦は行わない。
- (3) 組手競技
  - (ア) トーナメント方式とする。3位決定戦は行わない。
  - (イ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。但し、参加人数と競技日程の関係で変更（短縮）せざるを得ない場合も想定されるので、その際は審判長から通告する。
  - (ウ) 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。競技終了時に同点で先取のない場合は、1本の多い選手を、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。それでも決しない場合個人戦においては、副審の4名と主審の個々の判断に基づき、判定により勝敗を決する。
- (4) 安全具
  - (ア) 組手出場選手は、「全空連」検定（以下同じ）の安全具を装着すること。ニューマンホー（No.6以上）・拳ボータ・コンビネーションキック（赤・青）・ボディプロテクター・セフティカップ（男子のみ）。但しマウスピースの着用は任意とする。
- (5) 服装
  - (ア) 監督及びコーチは、全空連指定ジャージ又は清潔な白の空手衣を着用しなければならない。監督及びコーチは、身分を明らかにする腕章を着用すること。
  - (イ) 金属やプラスチックなどのヘアバンドやヘアピンの他、競技の安全を欠くと思われる物品の装着は禁止する。
  - (ウ) 選手は、「全空連」検定の青帯・赤帯を用意しそれぞれ着用すること。主催者では準備しない。
  - (エ) 選手の胸マーク、袖の県名表示等は原則として規制しない。

## 8 表彰

- (1) 各種目の第1位から3位まで賞状と副賞（メダル）を授与する。

## 9 審判員

- (1) 大会審判団は、「全空連」公認審判員をもって次により編成する。
- (2) 全国組手・地区組手・全国形・地区形審判員資格保持者。

## 10 安全対策

- (1) 選手は、本大会前1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
- (2) 参加選手は各自で、又は団体でスポーツ傷害保険等に加入をしておくこと。大会実行委員会では、傷害保険等への一括加入は行わない。
- (3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置は施すが、それ以上の責任は負わないのでご了解ください。
- (4) 監督、コーチ及び選手は、健康保険証を携行すること。

## 11 出場資格

- (1) 監督、コーチ及び選手は、「全空連」の会員登録者であること。
- (2) 出場選手は、各県連盟が選出した代表選手であること。
- (3) 監督及びコーチは、各県連盟が選出した者であるとともに、(公財)日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、合わせて「全空連」公認地区審判員（組手だけで可）以上の有資格者であること。
- (4) 監督・コーチは選手を兼ねることができる。

- 12 出場申込
- (1) 選手は、出場費として1種目5,000円とする。
  - (2) 別途定める出場申込書を提出すること（原則として、選手名簿等はエクセルファイルで作成したデータも併せてメール等で提出すること）。
  - (3) 申込書の送付及び出場費送金先（口座）は次のとおり
  - (4) 県連盟事務局が取りまとめて一括申込み。\*個人での申込みは受付ない

13 申込期限

- 14 宿泊等
- (1) 宿泊・交通費等の経費は自己負担とする。
  - (2) 主催者側による宿泊斡旋は行わない。

- 15 その他
- (1) 出場申込書提出後の選手変更は認めない。監督・コーチの変更も同様に認められない。
  - (2) 各コートの受付時間に間に合わない場合は、参加できないので注意すること。
  - (3) 当日は、大会会場の都合により練習会場の確保が出来ない場合も考えられますので、前もって周知徹底してください。
  - (4) 参加各県は必ず引率責任者を配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営と事故防止に協力してください。

以上